

ダイズの多収栽培には

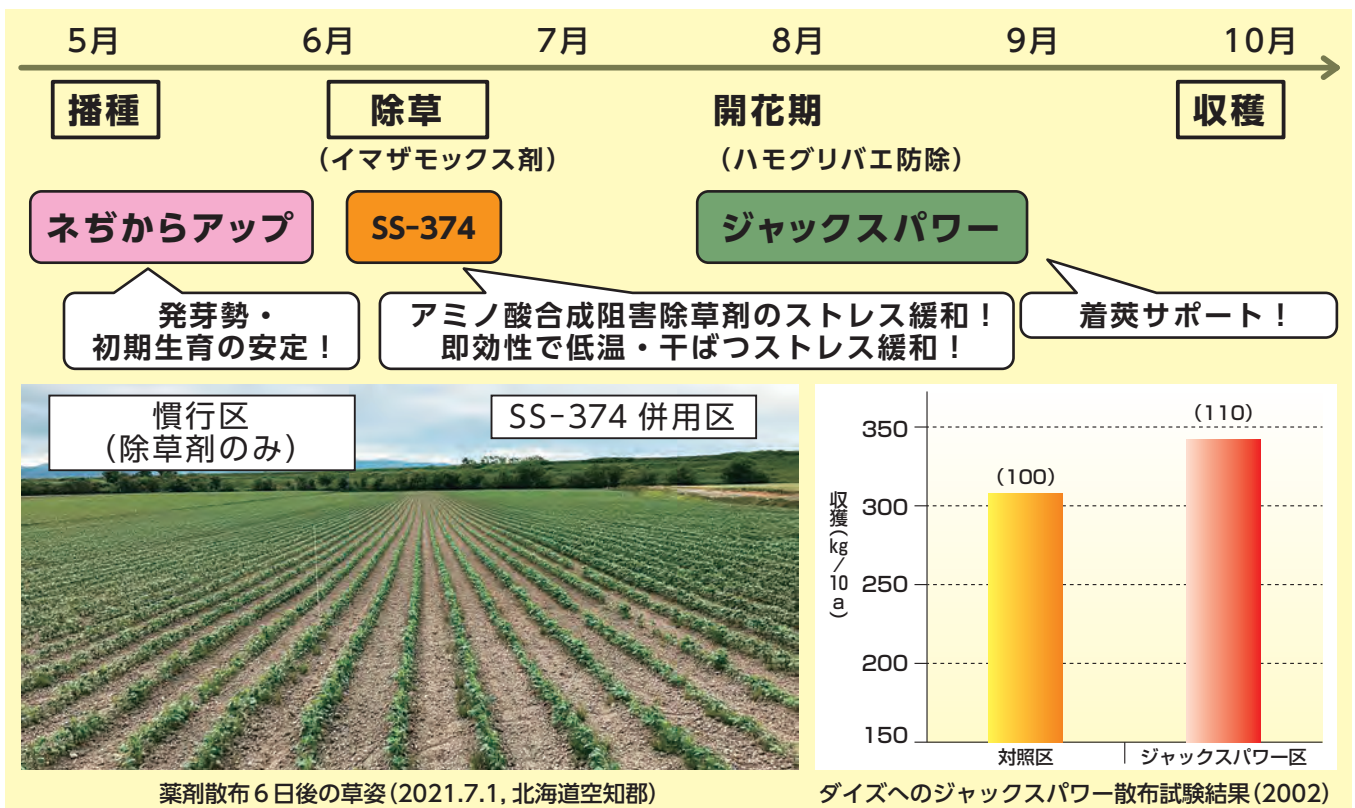
事業本部 園芸部 藤田 満

ストレスと言う用語はもともと物理学の分野で使われている用語であり、物体の外側からかけられた圧力によって生じた「歪み」を意味します。

私たち人間が生活する環境にも多種のストレスがあり健康を阻害されることも少なくありません。

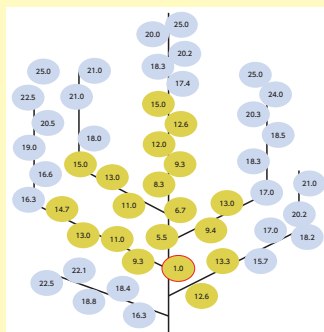
植物には自力でアミノ酸を作り出し生長する力がありますが植物も、生育段階で特性を發揮できない環境下（低温や高温、ゲリラ豪雨や早魃）では、ストレスを受けて健全な成長が妨げられています。

ダイズ・アズキにおすすめの資材



ダイズ

規定量の除草剤とSS-374の500倍希釈液を併用した「併用区」において、施用1週間後の草丈が、除草剤散布のみの「慣行区」に比べて、大きくなる傾向が確認されました。



アズキ

【アズキの開花順序】
一番初めに開花した日を“1”とし、それぞれの節ではその日から何日遅れて開花したかを示しています。小豆の収量の大半を占める節位の開花は、最初の花が咲いてから2週間以内です！

→ポイントは開花初めから2週間以内の散布です。

※ダイズの場合1週間以内です。

生育環境下のストレスを緩和させる為にはアミノ酸液肥「SS-374」の葉面散布をお勧めします（植物のストレス緩和=アミノ酸合成を助ける）。植物が健全に生育することにより多収が期待できます。

また、ダイズ栽培は地力窒素も大量に消費されることから健全な土壌なしでは多収は見込めないとされています。

今回はダイズ多収栽培に欠かせないアイテム「ジャックスパワー554」を紹介します。ダイズは健全な生育過程ではたくさんの花を咲かせます。咲かせた花がすべて莢になれば多収となりますが開花した花

は植物の老化に伴い一部は落花してしまいすべてを莢にすることは出来ません。

「ジャックスパワー554」は植物由来の天然成分により落花を減少させることで莢数を増加させ多収が期待できます。ぜひご利用してみてください。

ただし落花を減少させたことにより莢数増加に栄養分が追い付かず小粒化する場合がありますので注意が必要です。ダイズは一般的な畑作物と異なり特に開花期以降では硝酸態よりもアンモニア態の吸収量が多いため地力に不安がある場合はアンモニア態窒素の追肥が効果的です。

SS-374

遊離型ですばやくアミノ酸補給。特に日照不足や低温・干ばつなどストレス時の使用が効果的です。



20kg

使い方

500~1,000 倍に希釈して葉面散布または灌水・灌注

商品特性[®]



ジャックスパワー 554

植物由来の天然成分が、生育期間中に不足しがちな栄養素を補い、果菜類の樹勢維持や豆類の良好な着莢を助けます。



1.1kg

110g

使い方

1,000~2,000 倍に希釈して開花初期から 10 日以内に 1 回葉面散布

※1,000倍希釈で100ℓ/10a散布する場合1.1kgで1haの散布が可能です。